

令和7年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会 議	部会名 第2回全体会	日 時 令和 8年 3月 24日(火) 13:30 ~ 15:30
	会場 伊那市役所多目的ホール およびオンライン	参加者数 55 人
主 テ ー マ	1 協議 (1)令和7年度 上伊那圏域地域自立支援協議会活動報告・取組管理シートの進捗状況 (2)県自立支援協議会への圏域課題提出について (3)報告 2 質疑応答 3 学習会	
	1 協議 (1)令和7年度 上伊那圏域地域自立支援協議会活動報告・取組管理シートの進捗状況 各部長・事務局より(資料1・2) (2)県自立支援協議会への圏域課題提出について(報告) 上伊那圏域の課題として昨年度に引き続き「障がい児のショートステイ先の確保について」提出し、3月19日に開催された長野県自立支援協議会にて回答があった。児童のショートステイについては個別の事例を積み重ねていくこと大切であり、他地域の事例を基に自地域でどう取り組んでいくか、まずは一歩何か取り組んでいただきたい。但し、どの圏域にも課題としてあることは重々承知しているため、県内で好事例等あればその都度機能強化会議やフォーラム等活用して紹介していきたいと話があった。 (3)報告 ・就業支援部会 就労選択支援ワーキングより「就労選択支援」についての検討した上伊那圏域統一ルールについて説明。(資料3・4・5) ・拠点WGより令和6年度から実施している日中サービス支援型共同生活援助評価について来年度から精神障がい等地域生活部会にて聞き取り、運営委員会にて評価することを報告した。(資料7) 2 質疑応答 ⇒意見なし 3 学習会 事例報告「家の窓に明かりを灯すために」 発表者 ご本人・伊那市社会福祉協議会 主任相談支援専門員 胃瘻造設による在宅生活の困難さから障がい者支援施設に入所となったが、本当は地元で生活したいという本人の思いを叶えるため支援者で検討、多職種とも連携を行った。重度訪問介護や介護保険のサービスを活用し、現在は在宅生活をされている。「ああ、やっぱりおれも、家の窓に明かりをとすために、家へ帰ってきたんだな」と自宅に帰ってきたことを実感しつつ在宅生活を楽しみながら生活をされている。本人の思いを多職種で連携しつつ、支えていくことの大切さについて話があった。	
ま と め	・今年度の各部会活動内容を共有できた。 ・学習会を通して地域での生活について考える機会となった。	
次 回	未定	